

場所 岡山県岡山市

面積 0.24ha

活動目的 地域住民等の憩いや環境教育、レクリエーションの場として、また地域の生物多様性の保全に貢献すること。

サイト概要 岡山県岡山市南区藤田に位置する産業廃棄物処理場(藤クリーンリサイクルセンター)の外周および駐車場に整備したビオトープ。駐車場に整備したコンケンビオガーデン内には池を作っており、そこにはトンボなどが生息している。また、外周に整備したコンケンセラピーガーデンは常時開放しており市民や従業員の憩いの場として利用している。環境省の「体験の場の場」の認定を受けており、生物多様性について学ぶことのできる環境教育の場としても利用されている。ビオトープの整備にあたって、産業廃棄物をリサイクルした資材を最大限活用しており、再生品の安全性の証明にも貢献している。



- 土地利用の変遷** 当社リサイクルセンターは「岡山県養鰻試験場」の跡地に設置された。リサイクルセンターの外周は砕石を敷いただけの状態であったが、地域住民の憩いの場とすることを目的に隣接する岡山市所有の公園の一部とリサイクルセンターの敷地にビオトープを整備し藤クリーン株式会社が管理している。
- サイト周辺の環境** 申請サイト周辺は、児島湾の干拓事業により開発された埋立地上の小麦畑や水田が広がっている田園地帯である。2011年の八浜の植生図(1/25,000)では申請サイトは緑の多い住宅地、申請サイト周囲は水田雑草群落が広がっており、倉敷川沿いにはヨシクラスが存在する。
- アピールポイント** コンケンビオガーデン・コンケンセラピーガーデンでは循環型社会へのモデルケースとなる試みとして、再生砕石・再生処理土・再生木チップ・枕木・ゴロ石・礎石などさまざまなシーンでリサイクル製品を活用して、およそ200種類の植物がすくすくと育っている。また、環境省の「体験の機会の場」の認定を受け、周辺地域の小学校や公民館、企業の環境学習の場として活用している。

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

ビオガーデン内のビオトープに作った人工池で、場内で使用した排水を浄化した水を循環させている。池の中や周囲にはミソハギ、サンカクイ、ヘラオモダカなどが確認されている。セラピーガーデンでは159種類の植物が生育し、そこには草食性の昆虫や動物が集まることで、さらにこれらを食べる猛禽類(チョウゲンボウ)が確認され、食物連鎖の関係が成立している。

【確認された希少種】

チョウゲンボウ（岡山県RDB：準絶滅危惧）がセラピーガーデンで採餌する様子が確認されているほか、環境省レッドリストおよび岡山県レッドリストに掲載されている希少な動植物7種が生息・生育している。



写真説明：セラピーガーデンで採餌するチョウゲンボウ

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
<p><活動目的> 地域住民等の憩いや環境教育、レクリエーションの場として、また地域の生物多様性の保全に貢献すること。</p> <p><活動内容> 申請区域の①コンケンビオガーデン、②コンケンセラピーガーデンにおいて、以下の保全・利用活動を行う。</p> <p>①コンケンビオガーデン：水辺は希少な動植物の生息・生育環境に適したビオトープとして、陸域は鳥類や昆虫類の採餌の場として保全するとともに従業員や近隣住民の憩いの場として利用。水量・水質を確保。</p> <p>②コンケンセラピーガーデン：従業員や近隣住民の憩いの場として利用。下草刈りや除伐など生物多様性に配慮しつつ維持管理し、鳥類や昆虫類の採餌の場として保全。</p> <p><実施体制、計画の点検・見直し> 藤クリーン株式会社研究開発室が中心となってこれら活動を実施。現在オオキンケイギクは申請区域内で確認されていないが付近には生育しており、オオキンケイギクの侵入が確認されたら、駆除活動を実施する。本活動計画は2年に1回点検するとともに、5年に1回程度改定。</p>	<p>【モニタリング対象】 鳥類、昆虫類、植物を対象とする。</p> <p>【モニタリング場所】 ①コンケンビオガーデン：全域 ②コンケンセラピーガーデン：全域</p> <p>【モニタリング手法】 ①コンケンビオガーデン：鳥類、昆虫類、植物を直接観察 ②コンケンセラピーガーデン：鳥類、昆虫類、植物を直接観察</p> <p>【モニタリングの実施時期及び頻度】 ・基本的に1年に1度の頻度で実施。 ・実施年の4月～9月に実施</p> <p>【モニタリング実施体制】 藤クリーン株式会社研究開発室が中心となって種同定や分析、計画立案を実施。</p>